総合病院 岡山協立病院

岡山東中央病院

コープ倉田歯科

岡山医療生協
ネットワーク

コープみんなの診療所

コープ西大寺診療所

せいきょう玉野診療所

Japan Council for Quality Health Care
日本医療機能評価機構
認定第 JC36 号

HPH
Japan Network of Health Promoting Hospitals & Health Services

岡山医療生活協同組合
総合病院 岡山協立病院
〒703-8511　岡山市中区赤坂本町8-10
【TEL】086-272-2121【FAX】086-271-7882

HP　LINE

2024.6

人と、地域と

こんな時代だからこそ、
人を想う。地域を想う。
人との繋がり。地域との繋がり。
患者さんが安心して通える病院へ。
岡山協立病院は
患者さんに寄り添う看護を。
安心して暮らせるまちづくりを
めざしています。

看護師募集案内

岡山医療生活協同組合
総合病院 岡山協立病院

医療生協の病院として

医療生協（医療生活協同組合）とは、購買生協と同様の〝生協法〟に基づく住民の自主的な組織です。
地域の人々の健康や医療、暮らしに関わる様々な問題を地域の人々と共に解決し、
「安心して暮らせるまちづくり」をめざしています。
私たちの病院は、地域に育まれた、地域の人々のための病院なのです。

岡山医療生協の理念　岡山医療生協はいのちと心を大切にします

安全、安心、
信頼の保健・医療・介護の
ネットワークをひろげます。

楽しい組合員活動を通じ、
健康で明るいまちづくりに
貢献します。

人が個人として尊重され、
「平和」・「環境」を守る
社会をめざします。

岡山協立病院の理念

一人ひとりが尊重され、
「いのち」「くらし」「平和」を守る
社会をめざします。

いつまでも住み続けられる、
健康で明るいまちづくりを
支えます。

安全・安心でかかりやすく、
地域から信頼される
病院をめざします。

岡山医療生活協同組合は全日本民医連に加盟しています

戦後、医療に恵まれない人々の要求に応えようと、地域住民と医療従事者が手を携え、民主的な医療機関が各地につくられました。これらの連合会として1953年に全日本民主医療機関連合会（全日本民医連）が結成されました。以後、半世紀以上にわたって、地域の人々に支えられ、身近な医療機関として活動しています。「いのちは平等である」との考えから、差額ベッド料はいただいていません。また、地域の要求から介護・福祉分野の活動も活発に行なっています。

看護部長あいさつ

思いに寄り添い地域に目を向ける

看護部長 尾﨑 ちなみ

岡山医療生協は設立当初より地域の健康づくりに組合員さんとともに取り組んでおり、現在はHPHの視点から患者さん、職員、地域住民の健康づくりを進めています。また、当院のクリニカルラダー研修には「訪問診療の同行」や「訪問看護研修」、「施設研修」などがあります。患者さんの入院生活にとどまらず、地域で暮らす（療養する）ことに目を向けることができる看護師の育成につとめています。患者さん、ご家族には「この病院にかかってよかった」と思っていただき、私たち職員は「ここで働いてよかった」と思える病院にしていきたいです。

看護部の理念

一人ひとりを大切にし、
その人らしく生きることを
支えます。

生活背景をとらえ、
思いに寄り添った看護を
提供します。

地域と連携し、
信頼される看護を
提供します。

看護部の特徴

連携してサポート
岡山医療生協のネットワーク

岡山協立病院は、岡山医療生活協同組合の基幹病院として、法人内外の事業所と連携しながら医療・介護・福祉の充実に努めています。急性期から慢性期まで患者さんに寄り添った医療と看護を提供しています。

コミュニケーションを大切にする職場
多職種でのチーム医療

医師や看護師・理学療法士など、医療専門職が11のチームを編成し、患者さんの療養生活をサポート。フラットで緊密なコミュニケーションを図りながら、お互いのスキルを向上させ、最良の医療を提供しています。

院外でも健康づくりを応援
地域に根ざした看護活動

救命講習会、健康づくりサポート、班会、子育てサポートなど地域のための医療を設立当初から方針として掲げ、地域の皆さんが健康で暮らせるよう「地域まるごと健康づくり」に取り組んでいます。

チーム医療

班会

地域での講習

子ども病院探検

高校生1日医療体験

災害支援

看護部の活動
先輩メッセージなど
知っておきたい内容
盛りだくさん！

看護部サイト

コミュニケーションキャラクター
「かんごるー」

認定看護師のご紹介

相賀 和美
皮膚・排泄ケア
ストーマ外来

江田 あい
認知症看護

山内 玲奈
がん性疼痛看護
がん患者サポート外来

島田 聖也
呼吸器疾患看護
特定行為研修修了
呼吸器ケア外来

中下 勇治
皮膚・排泄ケア
ストーマ外来

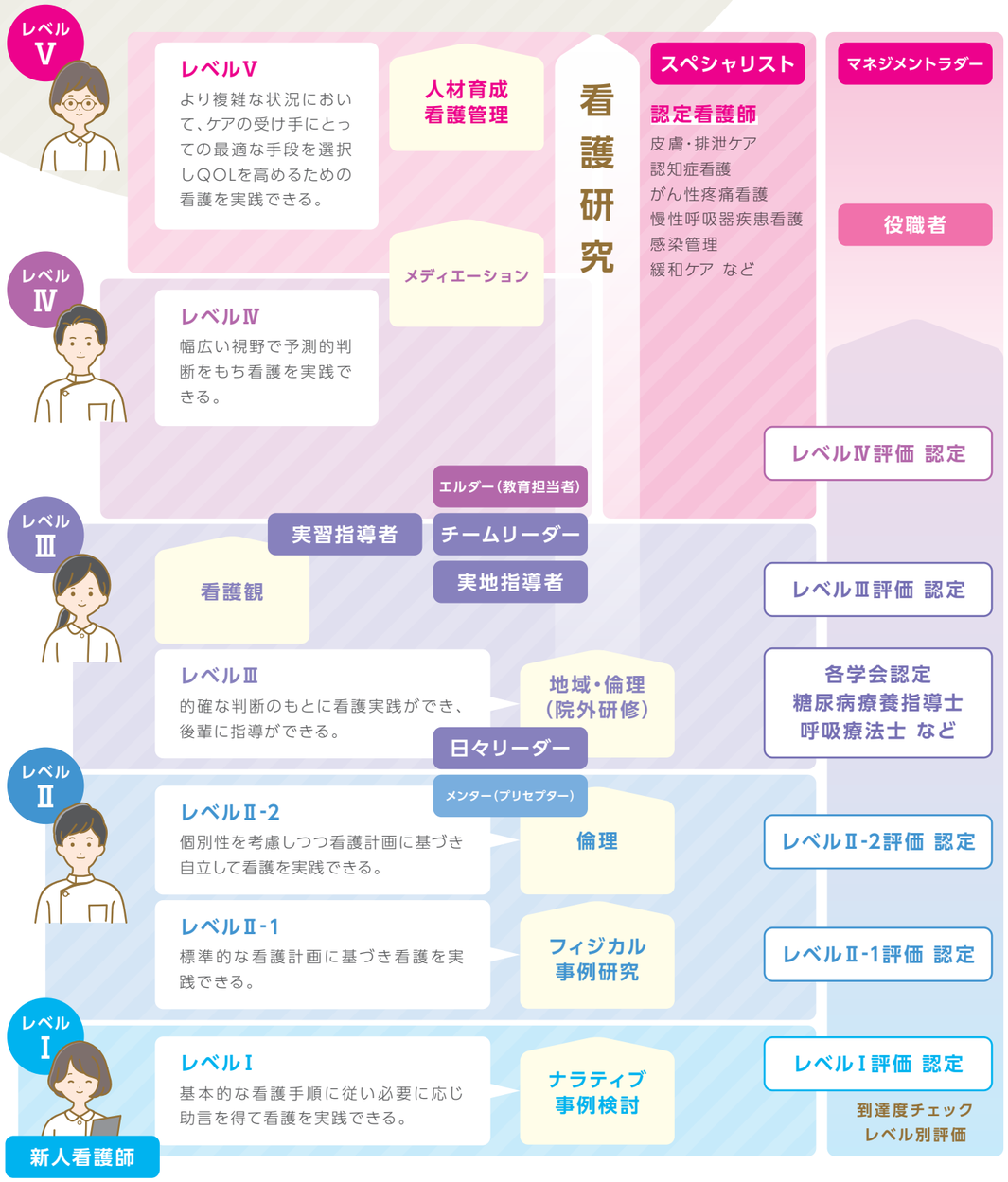
中村 賀憲
感染管理

松本 晃美
緩和ケア
がん患者サポート外来

村上 望
集中ケア

クリニカルラダー　教育・研修プログラム

新人看護師から看護のスペシャリストまでのプログラムを段階的に考え、一人ひとりのキャリアアップをサポートします。



資格取得支援制度

●専門技術習得

●本人が希望し、かつ法人が必要と認める資格等の習得を命じた場合、常勤職員に費用の一部を貸与。（取得後、規程年数の勤務により返済が免除）
●貸与内容（講習・実習などに参加した期間の給与、講習費・授業料等）

●スキルアップ支援

●資格取得後も1年以上勤務する意思がある常勤職員
●講習参加費および交通費（上限5万円）

新人看護師　教育・研修プログラム

新人研修は、看護専門職としての基礎を築く大切な研修です。
最初の1年間でしっかり基本が身に付くよう、メンター、実地指導者、エルダー（教育担当者）、師長、教育師長がみんなで見守り、サポートする体制を整えています。

3月	●看護部顔合わせ会（国家試験合格発表後）
4月	●入職 ●法人集合研修（1週間：他職種合同の法人全体研修） ●看護部集合研修（2週間） （吸引・口腔ケア・採血・注射・医療安全・酸素療法・電子カルテ）
5月	●ポンプ・シリンジ研修
6月	●法人新人フォローアップ研修 ●中心静脈栄養法（CV/PICC） ●メンタルヘルスケア（臨床心理士による面談）
7月	●心電図
8月	●ICLS（救急蘇生法）
9月	●エンゼルケア・ACP ●認知症 ●ローテーション研修
10月	●シミュレーション研修
11月	●エンゼルケア ●医療安全 ●ナラティブ
12月	●メンタルヘルスケア
1月	●レベルⅠ発表会
2月	
3月	●シミュレーション研修

【Ⅰ期】（4月～6月）

職場に慣れる

❶部署の概要がわかる
❷指導、援助を受けながら看護業務がわかる
❸職場に慣れ、コミュニケーションがとれる
❹やったことや困ったことを報告できる
❺Ⅰ期の職場の教育目標に到達する

【Ⅱ期】（7月～10月）

そろそろ夜勤

❶指導・援助を受けて、看護手順に沿ったケアが実施できる
❷患者さんの問題がわかり、適切な観察・援助ができる
❸患者さんの急変時、指導援助を受けながら行動できる
❹生活サイクルが維持でき、職場に適応できている
❺チームワークを大切にして、協力して働くことができる
❻Ⅱ期の職場の教育目標に到達する
❼24時間の看護業務を知ることができる

【Ⅲ期】（11月～3月）

メンバーと協力して働く

❶看護職員として自覚と責任ある行動がとれる
❷指導・援助を受けて、自立して看護実践ができる
❸指導・援助を受けて、24時間の看護実践ができる
❹チーム医療の一員として協力して働くことができる
❺民医連・医療生協・病院・看護部の理念と方針を理解できる
❻事例検討を通し、病態を理解して自己の看護を振り返ることができる
❼1年間を振り返り、自己の成果と課題を見つけることができる

2年目：レベルⅡ-1

【目標】標準的な看護計画に基づき看護を実践することができる。

8月 ・・・ COPDの病態と看護・呼吸介助
10月 ・・・ 血液検査データ・褥瘡
11月 ・・・ フィジカルアセスメント
12月 ・・・ 事例検討
3月 ・・・ 事例検討を通しての看護の学び

レベルⅢ

【目標】地域看護の役割を知り、継続した看護につなげることができる。

6月 ・・・ 地域看護について
7月 ・・・ 訪問看護同行
8月 ・・・ 同行後の情報共有
10月 ・・・ 地域看護についての施設見学
12月 ・・・ 地域看護についての学びを発表

わたしたち看護師の一日

日勤
8:30〜17:00

8:00 9:00 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 16:00 17:00

- 9:00 朝礼・ミニカンファレンス
- 9:00 出勤・情報収集
- 10:00 点滴・処置
- 11:00 検温・状態観察
- 12:00 電子カルテ入力
- 13:00 配膳
- 13:00 食事介助
- 14:00 休憩
- 15:00 カンファレンス
- 16:00 検温・状態観察
- 17:00 日勤終了

準夜勤
16:30〜1:00

16:00 17:00 18:00 19:00 20:00 21:00 22:00 23:00 24:00 1:00

- 17:00 出勤・情報収集
- 17:00 点滴・患者さんへ挨拶
- 18:00 血糖値測定など
- 19:00 食事介助
- 20:00 休憩
- 21:00 検温・状態観察
- 22:00 オムツ交換
- 23:00 採血・検査確認
- 23:00 電子カルテ入力
- 24:00 巡視
- 1:00 準夜勤終了

深夜勤
0:30〜9:00

0:00 1:00 2:00 3:00 4:00 5:00 6:00 7:00 8:00 9:00

- 1:00 出勤・情報収集
- 3:00 検温・状態観察
- 4:00 看護計画の見直し・評価
- 5:00 休憩
- 6:00 オムツ交換
- 7:00 検温・状態観察
- 7:00 電子カルテ入力
- 8:00 配膳
- 8:00 食事介助
- 9:00 深夜勤終了

Q & A

Q.夜勤はいつから?何回くらい?何人くらいで?
A.入るのは1年目のⅡ期(7〜10月)からです。月平均9回で、病棟によって2〜4人で行います。

Q.病棟看護師の平均年齢は?
A.34歳前後です。

Q.男性職員は何人くらいいますか?
A.平均して1割程度が男性です。

Q.休みはどのくらい?
A.年間115日です。その他、慶弔、子の看護休暇等あります。

Q.配属先はどのように決まりますか?
A.新卒看護師の場合、入職の約3ヶ月前に第3希望まで記入する用紙を配布します。希望、適性、全体の配置バランスを考慮し入職前月の3月に発表します。

Q.住宅手当はありますか?
A.あります。特に新卒または、40歳未満の既卒者で、単身者その他条件に該当する方は入職後5年間家賃半額補助(上限2万5千円)など別途の補助制度があります。詳しくはお問い合わせ下さい。

Q.子育てしながらの勤務もできますか?
A.たくさんの看護師が子育てと仕事を両立させて勤務しています。近隣の保育園との連携、保育料の援助制度もあります。ホームページもご参照下さい。

Q.緩和ケア病棟に新卒看護師は配属されますか?
A.教育体制の都合上、新卒からの配属はありません。入職後のキャリアアップの選択肢の1つとして異動することはあります。

病棟紹介

	北館	本館	南館	新南館	透析センター
6F		訪問看護ステーション さくらんぼ			
5F	管理棟	検査室			
4F	回復期 リハビリテーション病棟	医局	地域包括ケア病棟	リハビリ室	
3F	外科・呼吸器疾患病棟	HCU(ハイケアユニット) 手術室	特殊疾患病棟	緩和ケア病棟	
2F	循環器・腎臓疾患 総合診療科 地域包括医療病棟	放射線・血管撮影室 内視鏡・泌尿器科外来	整形外科・消化器疾患病棟	外来	透析センター
1F	総合受付・会計窓口 相談窓口・外来・検査室	総合案内 正面玄関	栄養科	歯科・売店	駐車場

手術室

外来

緩和ケア病棟(17床)

HCU(ハイケアユニット)(8床)

回復期リハビリテーション病棟(46床)

透析センター(35床)

福利厚生

各種サークル活動・職員旅行・共済制度・医療費減免制度など充実しています。

トレーニングルーム

サークル活動

奨学生募集

職員採用試験を経て看護師国家資格取得後、当組合に就職し、貸付期間と同期間勤務した場合、返済義務が免除されます。

★学年途中からの貸付もできます。このほか、修学援助金貸付制度もあります。

奨学金貸付額

(専門学校及び高等学校看護専攻科)月額 ---- 40,000円
(大学及び大学院)月額 ---------- 60,000円